



# すずかけの木

## 学校教育目標

- こころの豊かな子
- すすんで学ぶ子
- たくましい子

## 6年生の誇りを見た修学旅行

校長 たかの 高野 あきひと 明人

気づけば霜月(11月)です。朝マラソンで手袋がほしくなってきました。

今年から修学旅行を10月実施とし、13日(木)・14日(金)に全員参加の元、鎌倉・箱根に行ってきました。班別行動を行い、湯河原の高台にあるホテルに宿泊し、バイキングの食事や花火を楽しみ、箱根では海賊船で大涌谷に行きました。小学生の修学旅行を迎えるのが初めてという宿所から心のこもったおもてなしを受け、それに見合った感謝を態度で示してくれた6年生には感心するばかりです。名物の鳩サブレや黒卵をお土産にした児童も多かったのではないのでしょうか。天気は残念でしたが、立派な旅行を終えた児童に全国旅行支援のお土産が手渡されました。さすがは南河原小の最上級生、素晴らしい旅行でした。



つづいて、本校校庭に高くそびえる「すずかけの木」は、まさに本校のシンボルです。22日(土)に児童を中心に樹齢100年をお祝いする会が行われました。3世代家族が多い本校では、おじいちゃん・おばあちゃんまで皆知っている大樹です。落葉樹ですから四季折々の姿を我々に見せて楽しませてくれます。これからも150年、200年と南河原小の児童を見守ってほしいと願うばかりです。ちなみに来年は本校創立150周年です。

同日に3年ぶりに保護者公開となった「すずかけ祭り」が行われました。文化祭的な行事ですが、どのクラスのブースに入っても上手く役割分担ができており、手作りのアトラクションと相まっていい味を出していました。児童のみなさんと担任の先生方に感謝です。来年は公開制限なしでこのような学校行事を公開できるようにしたいものです。



## 学力向上のために自主学習を

昨年の11月号で本校の学力の現状と学力向上の方策をお知らせしましたが、1年経過し本校の学力は飛躍的に伸びています。今年度は県の正答率を超える分野もあり、学校を上げて取り組んでいる成果が出ています。ここで、さらなる向上を目指してご家庭にお願いをします。勉強は学校だけでは完結しません。国語で単元に入る毎に新出漢字を習います。それだけで、読んで書けるようになる児童は3%程度、100人いれば97人は練習して身に着けるのです。学校の教育課程に漢字練習はありませんから、学校以外でやっていただくこととなります。学力の高い学校は宿題などの強制なしでも、この97人の中の多くの児童が漢字を身に着ける学校です。どうやって？自分でやるんです。家庭でやる習慣がついているんです。(塾等でやらされる場合もありますが)

そこで、現在本校では自主学習(家庭学習)を奨励しています。是非ご理解いただき、ご協力ください。自主学習ノートは最後は校長まで届くのですが、低学年では保護者の方(お母さん)がお手伝いくださっているのがよくわかります。有難い限りです。「勉強は出来るうちは一緒にやる、出来なくなったらやっているのをほめる。」こんな感じでどうでしょうか。

実は高学年に読書もさせたいんですが、そうすると1日30時間ないといけませんね。

